

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	STARRY明大前		公表日 2025年3月18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	できるだけ1対1での対応ができるように工夫してきたので、利用者様の現状を踏まえて今後も継続していけると良いと思います。 国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	概ね適切に配置できたと思います。今後も1対1で対応ができる職員配置を工夫していけると良いと思います。 国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	区からご指導いただいた形に配置換えをした後、学年の発達の段階やお一人おひとりの現状に合った情報伝達手段が適用されているか、再検討したいです。 階段わきに手すりが付いております。	指導室の見通しが効くようにレイアウト変更を行いました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	常に整理整頓を心掛け消毒なども徹底して行っている。 お子さんが利用するスペースの清掃や整理整頓は大変行き届いており、片付けのルールも良く守られていました。引き続き物の置き場の確保と整理整頓に努めていきます。 毎朝清掃やアルコールでの消毒、週に一度床の拭き掃除や次亜塩素酸水を使用した消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	職員で共通理解の上、特性やその日の状況、学習時間などに合わせて適切に利用できていました。 本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて(中学生)別室で対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	職員の疑問や改善の要望を受け止め、全体で共有しやすい形に於て会議に反映していただけたと受け止めています。これらを振り返る機会が設けられるとさらに良いです。 毎日の朝礼・終礼・定期的な会議を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年度後半から定期的に行われるようになり、改善につながりました。引き続き定期面談で個々の意見や要望事項を吸い上げ、業務改善に結びつけていけると良いと思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修の機会がもてたことが支援の改善と効果に結びついたと思います。必要な研修プログラムをさらに整えることなど、要検討課題はあると思います。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	発達ナビの当施設サイト内で掲示されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	支援計画策定では、回を重ねるごとによりアセスメントや具体的な手立ての立て方について改善が図られました。今後もうこうした手順を大事にしていけたらと思います。 児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	時間を捻出して全員で支援計画の検討を行い、支援の具体策を考えました。今後も検討方法の改善に努めていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	新たな職員の方にも支援計画に沿った支援をしていただけるよう、研修時に確認できるシステムが作れるとなおよいと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	担当者会議や終礼でアセスメントの共有はできていますので、全体に行き渡る工夫ができるとさらに良いと思います。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	「家族支援」を設定することができました。次年度は必要に応じて移行支援も検討できると良いと思います。	個別支援計画を改修し、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の設定を行いました。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	学習支援についてはチームで立案し、研修も行ってお子さん方への支援を行っています。さらに、SSTやコミュニケーション支援についても同様にしていきたいです。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	一人ひとりに合った学習プログラムになるように工夫しています。今後も継続していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	学習は個別で行い、自由時間には一緒に遊ぶ時間を作っている。良好なコミュニケーションが取れる場面が増えていっているので内容も工夫していきたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	役割分担について偏りがないように都度確認しなうことができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日、終礼を行い、その日の活動内容の振り返りと共有を行っている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	改善を図り、負担を軽減しながら次の担当に引き継げるようになった。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	日頃のモニタリングは終礼で共有できている。定期モニタリングの時期と方法を定められると良い。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	課題は指導員が意図したものを与えているが、その順番などは自己選択できるように工夫してきた。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	主治医の診断やご意見を支援に反映し、相談機関や保健福祉課とも連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	6	学校との情報共有は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6	情報共有は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	移行者はなし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	情報共有は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	6	交流は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	交流は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	メールやLINEアプリでのテキスト、必要に応じて電話や面談なども適宜行ってまいりました。継続していきたいです。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	プログラムでの発信、面談などを適宜行ってまいりました。継続していきたいです。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時もしくは面談の機会を設けるなどして、相談に応じています。引き続き行っていきます。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	情報共有は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	苦情はありませんでしたが、相談にはその都度適切に応じてまいりました。今後も苦情が無いよう、合った時には迅速に対応できるよう、努めてまいります。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやLINEでのお知らせ、発信などを適宜行ってまいりました。継続していきたいです。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	例えば、場面緘黙が見られるのお子さんとの意思疎通など職員間で共有し、対応を工夫しています。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	情報共有は今のところ行っていない。保護者の方からご要望があれば随時対応を検討する。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	保護者の方と職員で共有し、万一来てて対応ができるよう準備しています。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	安心して働ける雰囲気担保されているので、お子さんに強く当たる職員は見当たりません。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		